

中学生海外研修2024



# オーストラリア直送レポート

**Vol.6**

2024.8.16 登校最終日

ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課 本林

吉備中学校 平野

パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 児玉

八幡中学校 熊ノ郷

## 〔ドリップストーン校グループ〕

8時30分に集まった研修生たちは、数学と美術に分かれて授業を受けました。数学の授業では前回の授業で三角比が終わったようで、思考力を用いるゲームを行いました。各々のグループでコミュニケーションをとりながらゲームを楽しみました。ジェンガを使っていたグループがジェンガを縦に積み立てて競い合っていたのが印象的でした。美術では、バラマンディの絵を描き、それぞれの個性が光る作品が出来上がりました。



2時間目の体育の授業では、走る活動をたくさん行いました。ただ走るのではなくお互いに声援(叫び声)や拍手を送り合ったり、一列になって体育館を縦横に互いに入れ違いで走ったり、ボールを使ってドリブル、パス、ハイファイブを行って競い合ったりと授業を楽しむ工夫がちりばめられた授業でした。研修生たちはペアやグループになった生徒たちと協力していました。



2時間目終了後の20分間の休憩ではバスケットボールを現地の生徒に交じって行う研修生達がいましました。すっかりと溶け込んでいる様子が印象的でした。

3時間目にはオーストラリア料理を、4時間目にはお好み焼きを作りました。それぞれの組で試行錯誤しながら取り組んでいました。ミートパイやスコーン、ソーセージロール、フェアリーブレッド、チョコレート・クラックルズなどのオーストラリア料理を作りました。お好み焼きを作るときには、研修生が作り方の説明をし、仕事を割り振りながら作りました。聞き方や伝え方がわからないときにも伝える工夫をしている姿が多く見られました。



5時間目には9月に吉備中学校に来る生徒たちと作った料理を食べました。食べたことのない料理ばかりでたくさん作った料理もどんどんと減っていきました。その後、校長先生から修了証明書とオリジナルの水筒を手渡されました。ピンク、イエローブルーの中から好きなものを選びました。日本で使うことが待ち遠しい様子でした。





17時30分からはナイトクリフの公園でホストファミリーを招いてのお別れパーティーを行いました。研修生たちは追いかけてこや遊具で遊ぶなど暗くなるまで楽しみました。海に沈む夕日と乾いた風に吹かれながら芝生で走り回ったり写真を撮ったり最後の思い出を作りました。様々なサラダや鳥の丸焼きなどを楽しんだ後は、オーストラリアのデザートであるパブロアを食べました。メレンゲを使ったふわふわの甘いデザートでした。最後まで交流を楽しみ、各々ホストファミリーと共に帰路につきました。



「来た時には日本に帰りたと思っていたんだよね、けど今はめっちゃ楽しくてもっといいたくなった。」と笑顔で語る研修生の言葉が印象的でした。往路の空港で学校外の人と初めて英語で話してから、毎日英語を使った生活を通して確かな成長があったように感じられました。これからも安全に日本に帰れるよう、サポートしていきます。

## [パーマストン校グループ]

パーマストン高校での最後の研修日になりました。まずは、学校からバスで40分くらいのところにあるダーウィン軍事博物館に行きました。ここでは、オーストラリアの戦争の歴史を学ぶことができま



す。日本によるダーウィン空爆のことも学びました。研修生には、ここで学んだことを忘れずに、戦争のない平和な世界を築くことができる大人へ成長してほしいと思います。

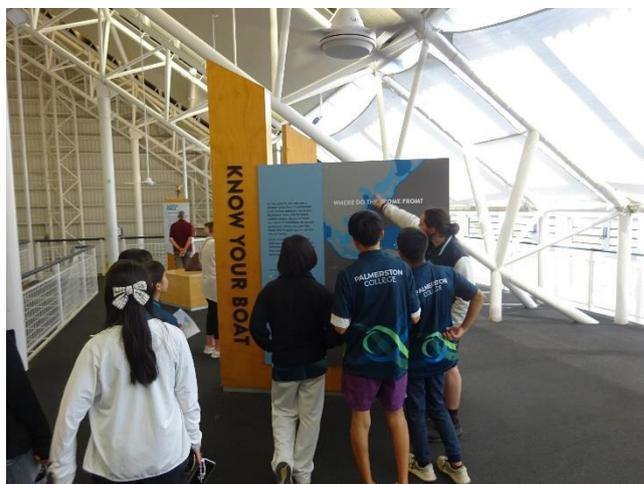


次に、北部準州博物美術館に行きました。ここには、国際的に有名な芸術、文化、科学のコレクションがあり、オーストラリアの動植物、アボリジニアート、トレイシーと名づけられたサイクロンなど様々なことを学ぶことができます。

博物館を見学した後、少しの時間でしたが、近くの海岸を散策しました。心地よい海風を感じながら、ダーウィンの美しい海を楽しむことができました。

パーマストーン校に戻り、昼食を食べました。今日は、多くのパーマストーン校の生徒達が、研修生に話しかけてくれました。研修生は、連絡先を交換したり、一緒に写真を撮ったりしました。昼休み終了のチャイムが鳴ると、「もっと話したいのに、もう授業が始まってしまうよー」と名残惜しそうに授業に向かうパーマストーン校の生徒もいました。

5時間目は、研修の修了式で、パーマストーン校の校長先生から、修了証と記念品をいただきました。校長先生から「有田川町の中学生もパーマストーン校の生徒も素晴らしい時間を過ごすことができました。これからもこの交流を続けていきましょう」と言っていただきました。修了式の最後に、パーマストーングループ団長が、英語でのお礼の言葉とともに、校長先生に有田川町からのプレゼントを渡しました。この修了式には、9月に来日するパーマストーン校の生徒も出席しました。パーマストーン校の生徒達も日本での研修を楽しみにしていて、「日本ででの生活で気をつけなきゃいけないことは何ですか」「ホストファミリーにはどんなお土産がいいですか」などの質問がありました。今回、パーマストーン校の生徒が研修生の学校生活をサポートしてくれたように、9月のパーマストーン校の生徒が来日した際は、研修生が中心となって、有田川町の各中学校での学校生活をサポートしてもらいたいです。パーマ



ストーン校の生徒達にとって日本の学校での体験が素晴らしいものになるように、頑張ってもらい  
ます。



オーストラリアの生活にも慣れ、少しずつパーマストーン校の生徒達とも打ち解けて話せるようになってきましたが、研修生にとって、ホストファミリーと過ごす最後の週末となります。たくさんの思い出  
を作って、日曜日の夜、元気に空港に集まってくれることを願います。